

# 段ボール箱を利用して 生ごみの堆肥化を實踐中

## 伊勢宮区の皆さんとながの環境パートナーシップ会議 生ごみチームが意見交換会を開催しました



生ごみを地域で循環利用する仕組みを構築するため、生ごみ堆肥化の事業に6月から1002世帯が参加して生ごみ堆肥化に取組み、9月に「生ごみ段ボール堆肥を實踐して、その後」と題して、伊勢宮公民館で意見交換会を行いました。

この活動は、伊勢宮区環境役員とながの環境パートナーシップ会議生ごみチームが、平成23年度から協働による生ごみ堆肥化事業を進めており、今年度は、生ごみチームが推薦する段ボール堆肥の基材として「ピタコーゲン入・廃オガクくん炭」を活用して実践しました。生ごみチームでは、実践されている方へのアンケートもを行い、「生ごみの分解が早かった。生ごみを投入しても箱の中のかさは増えなかった」などの驚きの声も聞かれました。

**生ごみを減量、堆肥化して土に還しましょう**

**Step.1 生ごみを出さない工夫**  
台所でのごみ減らし=材料を無駄にしない。食べ残しをしない。

**Step.2 生ごみの重さ・かさ減らそう**  
三角コーナーを利用して水分をカット

**Step.3 生ごみを分別して資源化**  
段ボール堆肥、電動生ごみ処理機、ぼかし、コンポスト

**生ごみ自家処理実践講座**  
段ボール箱を使用した生ごみ自家処理実践講座を開催いたします。

○日時/平成25年3月15日(金)午後2時～ ○会場/長野市役所第2庁舎10階会議室17 ○連絡先/224-5035生活環境課  
\*参加ご希望の方は、開催日の前日までにご連絡ください。

**循環型社会形成推進功労者表彰 「みどりの市民」が県知事表彰を受賞**


3R推進月間になっている10月、ホクト文化ホールで「平成24年度長野県循環型社会推進大会」が開催され、市内のNPO法人みどりの市民が、循環型社会形成推進功労者として県知事表彰を受けました。

みどりの市民は、市が委託している生ごみ減量アドバイザーの人材育成や、生ごみ堆肥化講座への派遣、また、レジ袋使用削減の推進活動などに取組んできたことが評価されました。

**「レジ袋無料配布中止」を呼び掛け**

レジ袋を大量に使うと資源の無駄遣いになるだけでなく、ごみや二酸化炭素の排出が増えるなど、環境にさまざまな影響があります。長野県では、マイバッグを普及させレジ袋の使用を減らすため、県全域で「レジ袋無料配布中止」を推進する取組みを始めています。

市でも県の取組みに賛同して、レジ袋の削減を呼び掛けています。市民の皆さんも買い物ときにはマイバッグを持参して、レジ袋の削減にご協力をお願いします。



**集積所に出されたごみの持ち去りは禁止**

市では平成21年7月1日から「長野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」を改正し、集積所に出されたごみの持ち去り行為を禁じています(金属類など)。市が委託する収集運搬事業者以外の者が、ごみの収集日にごみ集積所の排出された家庭ごみを収集・運搬することはできません。

生活環境課では、職員による不定期パトロールを実施し、行為者への指導や集積所への注意文書の掲示等を行っています。

こうした行為を見かけた場合は、車のナンバーなどを**生活環境課 (tel.224-5035)** までお知らせください。